

## 石狩八幡小学校 教育目標・学校経営方針等について

H30.10.2

## 1. 経過報告

4.26 (木) 石狩小八幡小校長打ち合わせ (八幡小)

- ・教育課程部会の設置について
- ・「学校教育目標」、「学校経営方針」、「目指す学校像、児童像、教師像」作成について

石狩小・八幡小 両校長の確認

1. 「学校教育目標」及び「学校経営方針」等の検討着手 H30.5
2. 「めざす学校像、児童像、教師像」の検討着手 H30.5
3. 教育課程部会(分科会)の活動開始 H30.4
  - ①新しい学校の特色づくり部会
  - ②新学習指導要領への対応分科会
  - ③地域連携分科会
  - ④閉校開校準備分科会

5.15 (火) 第6回石狩・八幡小学校設立準備委員会(八幡小)

- ・学校施設見学
- ・校名の募集について
- ・学校施設の現状と施設改修の意見とりまとめについて

5.16 (水) 「学校教育目標」、「学校経営方針」、「目指す学校像、児童像、教師像」原案作成  
6.1~6.30 校名公募

6.11 (月) 4校校長会議(市教委)

「学校教育目標」、「学校経営方針」、「目指す学校像、児童像、教師像」原案完成

7.10 (火) 第1回統合校に係る学校・市教委との協議会(市教委)

- ・「学校教育目標」、「学校経営方針」、「目指す学校像、児童像、教師像」原案説明と意見交換
- ・教育課程部会のあり方説明と意見交換

7.12 (木) 第7回石狩・八幡小学校設立準備委員会(八幡コミセン)

- ・校名募集結果報告と校名案協議
- ・施設整備に係る要望書(案)について

7月中 教育課程部会分科会メンバー選定(各校)

8月中 職員会議(各校)

- ・「学校教育目標」、「学校経営方針」、「目指す学校像、児童像、教師像」についての説明と統合に関しての意見集約

9.13 (木) 石狩八幡小・厚田学園の開校に係る学校・市教委との協議会(市教委)

- ・統合準備委員会について
- ・H31（2019）年度の予算編成にあたって（閉校記念事業の構想案）
- ・聚富小中学校児童生徒の通学先意向調査について

9.21（金）定例市議会にて統合校の校名が石狩八幡小学校に決定

10.2（火）第1回石狩八幡小学校教育課程部会全体会・各分科会（八幡小）

## 2. 「学校教育目標」及び「学校経営方針」等の検討

◎石狩市教育プラン～「自立する市民」を育む

- I 自ら学ぶ意欲を育てる教育
- II 思いやりと豊かな心・健やかな体を育む教育
- III 地域で育ち・学び・生きる教育

（1）教育目標（案）について

両校の教育目標

○石狩小

自ら学び 心豊かに  
たくましく生きる 石狩の子  
情 い いたみのわかる子  
知 し しんけんに学ぶ子  
体 か からだを鍛える子  
意 り りそうに向かう子

○八幡小

自らの生活を創造する  
人間性豊かな児童の育成  
徳 思いやりの心をもって生活する子  
知 学ぶ喜びがわかり進んで学習する子  
体 運動の楽しさを知り自らをきたえる子

○これからの社会を生きるために必要な資質・能力を明確にしたもの

○これまでの学校や地域のつくりあげてきた文化・風土を踏まえたもの



◎教育目標設定の理由

①教育の大改革

新学習指導要領解説総則編の冒頭では、今の子どもたちが成人となる頃、我が国は「厳しい挑戦の時代」を迎えると表現し、グローバル化やAI（人工知能）の飛躍的な進歩などにより社会構造や雇用環境は予測困難な程度にまで激変するとしている。また、今後は一人一人が持続可能な社会の担い手として、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出すこと、学校教育においては、様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報の見極め、知識の概念的な理解、情報の再構成を通じて新たな価値につなげていくこと、複雑な状況変化の中で目的を再構築できるようにしていくことなどを求めている。今改訂における「主体的・対話的で深い学び」への

授業改善，教科の新設を含めた外国語教育や道徳教育の充実，各教科等におけるプログラミング教育の導入などは，こうした課題を受けたものととらえられる。

一方，学校が抱える課題の複雑化・困難化，教員の急速な世代交代等の背景のもと，前述のように求められる力の育成を学校教育だけで担っていくことは難しいという見通しも明言されている。既に我が国では，コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の普及を通して「地域とともにある学校づくり」が推進され，今改訂においては学習指導要領等を「学びの地図」として家庭・地域と共有し「社会に開かれた教育課程」をめざすことが期待されている。これからの学校に求められる教育環境としての本質的な役割や，職場環境としての在り方などについて，家庭，地域とともに見つめ直していくことが極めて重要になっていると考えられる。

## ②両校の歴史的背景

平成32年度石狩小学校と八幡小学校は児童数の減少等により、統合される。また、聚富小学校から、虹が原地区在住の児童が通学区域変更により統合校に合流することになった。

石狩川河口の右岸（現八幡小校区）と左岸（現石狩小校区）に位置する本町・八幡地区は、歴史的に一体となって発展してきた。地域の学校の歴史を大きな流れとして見ると、幕末に右岸地区に設立された「教導館」を源流とし、学制によって創設された「石狩教育所」によって公教育として始まった石狩河口地域に位置する本町・八幡地区の教育は、分離統合を繰り返しながら、今日まで連綿と継続されてきた。石狩小学校と八幡小学校は、歴史から概観すると一つの学校であり、石狩教育所から連綿と続く道内で最も歴史のある石狩小学校と、教導館に由来する八幡小学校は、「石狩発祥の地」であるこの地域に石狩の歴史と一体となって歩みを続けてきた共に由緒ある学校である。

今回の統合は、両校の「歴史と伝統」が再び一つにまとまるという意義を持ち、両校が積み上げてきた優れた教育活動が一層発展する契機という意味を持つ。

## ③設立準備委員会における統合校の特徴

これまで両校が取り組んできた「確かな学力」「豊かな心」「健やかでたくましい体」の育成はもとより、地域の歴史や文化を生かした教育活動や伝統芸能活動を継承し、「石狩発祥の地」として石狩を代表する伝統校としての特色ある学校づくりを行う。

## ◎学校教育目標（案）

「ふるさとを愛し 夢や志を抱き 心豊かでたくましく生きる子の育成」

- ・りりしい子（意）
- ・かしこい子（知）
- ・やさしい子（情）
- ・たくましい子（体）

## ◎教育目標設定にあたり（案）

●総括目標 「ふるさとを愛し 夢や志を抱き 心豊かでたくましく生きる子の育成」

先行き不透明で予測困難な 21 世紀。情報化や国際化が一層進み価値観が多様化する社会に生きる子どもたちには、主体的でたくましく生き抜くための自主自立の精神を身につけ、仲間とともに協働・対話を通し、多くの実体験を経験することで、訪れるであろう様々な困難にひるむことなく立ち向かい解決する力の育成が求められている。

また、石狩市発祥の地、石狩の中心であった石狩川河口に位置する本校の子どもたちには、自分が生まれ育った地域の豊かな自然や伝統・文化に親しみ、理解を深め、先人の生き方に触れることにより、ふるさとへの愛着や誇りを育み、夢や志を持って地域社会への一員としてふるさとに生きようとする姿勢を育てることが重要である。

生まれ故郷を愛し、誇りに思い、恵まれた教育環境の中で、夢や志を持って、21 世紀をたくましく生き抜く力を培うことを総括目標として、地域社会とともに力を合わせ、学校教育の充実を図りたい。

○理想に向かう りりしい子（意）※

実体験から育まれる自主性や判断力から確たる自信・夢・志をもって生き抜く子ども

【指導目標】

○自ら学ぶ かしこい子（知）

主体的に学ぶ姿勢を育み、確かな学力を身につけ、仲間とともに高め合う子ども

【指導目標】

○思いやりのある やさしい子（情）

仲間と協力して助け合い、心や自然の美しさなどに感動できる豊かな心をもった子ども

【指導目標】

○健やかで たくましい子（体）

明るく元気に、進んで体を鍛え、生命を尊重し、たくましい心と体をもった子ども

【指導目標】



○子どもたちがこれからの社会を生きるために必要な資質・能力を明確にしたもの

※〔りりしい：男性的な言葉だが、本校では以下の通りおさえる〕

- 男女ともしっかりとした意志や自信を持つ
- 目的を持って行動する
- 毅然とした態度で物事に当たる強さを持つ

## (2) 学校経営方針（概要）（案）について

- ①新しい時代に必要となる資質・能力の育成につながる教育課程の編成実施
- ②教育目標の具現化を目指し全職員の創意工夫による学校運営の充実
- ③わかる楽しい・学習意欲を高める授業の創造と研修の充実
- ④支持的風土の学年学級経営の推進と道徳教育の充実によるいじめのない学校の実現
- ⑤日常的な児童観察と迅速で効果的な生徒指導の充実
- ⑥望ましい「生き方」を自ら追求するふるさと学習の充実
- ⑦心身の健康保持増進と安全・防災教育の推進
- ⑧児童一人一人のニーズに応える特別支援教育の充実
- ⑨地域の教育資源や人材の活用と小中連携を強化したコミュニティ・スクールの実現
- ⑩安全・安心な潤いのある教育環境整備

## 3. 「めざす学校像、児童像、教職員像」の検討

### ①めざす学校像（案）

- ☆笑顔いっぱい 夢いっぱい 感動ある学校
- ☆教育環境が整った 安全・安心な学校
- ☆地域の伝統と信頼に基づいた 開かれた学校

○これまでの学校や地域のつくりあげてきた文化・風土を踏まえた学校づくり

### ②めざす子ども像（案）

#### ☆理想に向かう りりしい子（意）

実体験から育まれる自主性や判断力から確たる自信・夢・志をもって生き抜く子ども

#### ☆自ら学ぶ かしこい子（知）

主体的に学ぶ姿勢を育み、確かな学力を身につけ、仲間とともに高め合う子ども

#### ☆思いやりのある やさしい子（情）

仲間と協力して助け合い、心や自然の美しさなどに感動できる豊かな心をもった子ども

#### ☆健やかで たくましい子（体）

明るく元気に、進んで体を鍛え、生命を尊重し、たくましい心と体をもった子ども

### ③めざす教職員像（案）

☆人間性豊かで子どもとともに汗と涙する教職員 **（子どもに親身に寄り添う）**

☆専門職としての力量を身につけた教職員

☆学校経営参画意識をもち協力する教職員

☆地域を愛し、保護者・地域と歩む教職員